



にし やま
西 山 み え



けん と
県都クラブ

文化芸術活動への継続的な支援の考えは

問 津市が有する12の文化施設での催し物に際し、感染予防品や施設使用料について、文化芸術団体等への支援が行われる。生活の彩りを充実させ、日常を意欲的に過ごしていくためにも、「新しい文化芸術活動の発表のスタイルの確立」に向けて、本年度はもとより、次年度以降においても、支援していくことが必要だが、文化芸術団体等への継続的な支援の考えは。

きめ細かく丁寧な取り組みを進める

答 文化芸術団体等の活動の根幹である発表の場を、継続して創出していくことは、大変重要である。本年度は中止せざるを得なかった市民新能や市民文化祭なども、アフターコロナにおいては、より多くの団体等に参加いただき、より多くの方にご覧いただけるよう事業を実施する。また、久居アルスプラザで展開しようとしていた自主事業は、開催が可能な状況が見えてきた段階で、指定管理者と連携を密にしながら実施に向けて事業に取り組むなど、12の文化施設を通じて、文化芸術団体等に寄り添った、きめ細かく丁寧な取り組みを進めていく。

●その他の質疑・質問●

○生涯学習の場である公民館について

- 公民館講座の昨年度との対比における現状は
- コロナ禍での10月からの開講に向けた取り組みと、参加者の確保や講座講師への対応は
- 公民館活動維持のため、全年代を対象とした、5年先、10年先を見据えた新たな進化や、庁内外の横断的な連携への考えは



▲生涯学習の場である公民館の活発な活動（文化祭）



た むら むね ひろ
田 村 宗 博



しん わ かい
津 和 会

来年度の税収減は現実だがその対策はいかに

問 コロナ禍による社会経済活動の停滞により、今までどおりの市税収入の確保が困難なことが予想される。自主財源は減少し、市民サービスは低下、不安は尽きない。少子高齢化とともに人口減少が進み、企業誘致においても分譲地がほぼ完売し、市税のプラス要因の雇用創出が見込めない。このような状況を踏まえ税収確保につながる施策の考えは。

第2期総合戦略に基づき自主財源確保を図る

答 人口減少に歯止めをかけ、地方から東京への人の流れを是正する国の地方創生の取り組みに合わせ、「津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」に、若い人が津市に住み続けたい、住んでみたいと思っただけのような、子育てしやすい環境の整備に加え、企業立地など安定した雇用の創出・拡大、新たな人の流れの創出等を目標に掲げ取り組んできた。引き続き、第2期総合戦略に基づき、都市圏の大学に進学した学生の市内企業へのU・I・Jターン就職の促進や、市内の民間未利用地への企業誘致や事業継承支援などに取り組み、自主財源の確保につなげていく。

●その他の質疑・質問●

○農業政策について

- 多面的機能支払交付金制度について
- 農地中間管理事業について
- ため池の管理について



▲地域住民の共同作業による水路の目地補修